



平成 21 年 4 月 28 日
編集：千代田区議会広報広聴特別委員会
発行：千代田区議会
〒 102-8688 千代田区九段南 1-2-1
☎ 3264-2111 内線 3315
ファクシミリ 3288-5920

ホームページアドレス
<http://kugikai.city.chiyoda.tokyo.jp>
メールアドレス
kugikai@city.chiyoda.lg.jp

※この区議会だよりは、区議会 Web サイト（ホームページ）でもご覧になれます。区議会 Web サイトでは「区議会の日程」や「キッズページ」などを掲載しています。また、区議会の最新情報をお届けする「メールマガジン」も発行していますので、どうぞご利用ください。

No. 194



<QRコード>

第 1 回 定例 区 議 会

デジタル写真館



(千鳥ヶ淵ボート場)

—区内の風景写真等を募集中—

区民の安心・安全を支えることを最優先とした平成 21 年度予算を可決！

委員会提出議案「千代田区応急資金貸付条例の一部を改正する条例」を全会一致で可決



入学おめでとう

主 要 内 容

- 代表質問…………… 2 面
- 一般質問…………… 3・4 面
- 定例区議会活動報告など…………… 5～7 面
- 予算特別委員会の報告など…………… 8 面
- 主な活動・会期日程など…………… 9 面
- 議案の審議結果など…………… 10 面

提案された議案など

- ◆区長提出議案
 - ・条 例…………… 10 件
 - ・予 算…………… 9 件
 - ・人 事…………… 4 件
 - ・報告等…………… 2 件
 - ◆委員会提出議案
 - ・条 例…………… 1 件
 - ◆請 願…………… 1 件
- ※審査内容の要旨や議決の詳細は本文に掲載しています。

平成 21 年第 1 回定例区議会は、2 月 26 日から 3 月 25 日まで 28 日間の会期で開催しました。初日は、区長の議会招集あいさつの後、「副区長の選任の同意について」を採決し、賛成多数により可決されました。3 月 4 日、5 日は、3 会派の代表質問と 9 名の議員が一般質問を行いました。

区長から提案された 19 議案は、担当する常任委員会と予算に関する議案は「予算特別委員会」を設置し、それぞれ審査を付託しました。その後、2 件の報告を受けました。

10 日の継続会では、請願の付託先を報告後、定額給付金の経費に関する「平成 20 年度千代田区一般会計補正予算第 3 号」など、委員会の審査が終了した 14 件の議案を可決しました。

最終日の 25 日は、最初に区長から追加提案された「千代田区名誉区民の選定の同意について」など 3 議案を可決しました。続いて、「平成 21 年度千代田区一般会計予算」など、委員会の審査が終了した 5 議案を可決しました。その後、委員会提出議案の「千代田区応急資金貸付条例の一部を改正する条例」は可決、請願は不採択となり、第 1 回定例区議会が閉会しました。

第 1 回 定例 区 議 会

代表質問

(要旨)

自由民主党議員団

鳥海隆弘

石川区政3期目にあたり、今後の区政運営方針を問う
地域経済対策について

問 現在の社会経済状況は、まさに「戦後最大の経済危機」であり、わが国の輸出依存の経済構造のもろさが如実に表れた。これが内需に波及し、雇用の悪化や消費の縮小など負の連鎖が懸念されている。そこで①景気の減速が区民生活に及ぼす影響に対する基本的な認識について②新年度予算にある、緊急景気対策措置や500円ワンコインドリームの開始と期間について、区長の見解を伺う。

答 ①基礎的自治体は、区民や事業者の安定した生活や経営を支える経済対策を迅速かつ継続的に行う必要がある②「緊急景気対策特別措置融資制度2009」は、融資期間5年の長期資金の申し込み期限は本年5月から7月、融資期間1年の短期資金は年度当初から通年の制度とした。500円ワンコインドリームは、区民の消費生活の支援及び区内商店の活性化を目的に、本年5月から9月に実施する。

麴町保育園の整備について

問 麴町地区の保育サービス総量の拡大は喫緊な課題である。民設民営は時期をみて、保護者の不安解消のため、スピードを持ち子育て環境の充実を図るべき。見解を伺う。

答 区が責任を持ち新園舎の機能・ボリューム等について周辺住民と協議を進める一方、新保育園のあり方を、区、保護者及び第三者で協議を行なっていきたい。

介護保険事業について

問 ①今回の保険料設定の基本的な考え方について②低所得者対策への取り組みについて③介護報酬改定の影響と、影響が予想される高齢者の方への対応について④要介護認定の基準見直しにあたり、現時点での高齢者への影響について、区長の見解を伺う。

答 ①経済状況を踏まえ保険料の上昇の抑制策を検討した②本区独自の減免策をさらに緩和する③従事者の処遇改善の報酬額引き上げは評価する④全国統一の基準で運用される。今後の動向を踏まえて分析し、適切に対応したい。その他、「基本計画の改定について」質問がありました。

日本共産党区議団

木村正明

未曾有の景気悪化から区民のくらしをどう支えるか

問 国の構造改革が、多くの貧困層を生み出した。区は、区民生活の安心を実現するためにも、具体的施策を策定し、実践する必要があると考える。そこで、以下の4点を提案する①高齢者の経済的負担を少しでも軽減するために高齢者福祉手当を復活させる②生活保護特別見舞金を復活のうえ増額し、生活全体の底上げを図る③現在、後期高齢者入院時負担軽減事業は、適用対象が医療保険だけである。介護型の療養病床にも適用出来るよう拡充する④貧困の世代連鎖が大きな社会問題になっている。そこで、就学援助の拡充と、奨学資金貸し付けを復活し、拡充を図る。

答 ①多様な在宅支援事業を展開しており、今後も在宅生活を支援するサービス基盤の充実に努める②引き続き自立促進事業を推進する。見舞金の復活は考えていない③保険適用の病院の方が、保険外の負担が重く、その負担を軽減する制度であり、拡充の考えはない④就学援助は、他区と比べても手厚く措置し、現在の基準は適正である。奨学資金は、件数が年間1件であつたうえ、東京都育英資金制度もあり、廃止した経緯がある。復活は考えていない。

「構造改革」の「官から民へ」は、区民に何をもたらしたか

問 国・地方を問わず、「官から民へ」の破綻は明瞭である。そこで、区政版の構造改革ともいえる、住宅施策と千代田図書館について、以下5点質問する①住宅基本条例に、「すべての区民に最低居住水準を確保することを区の責務とする」と、明記すべきでは②区の組織に住宅課を再度、設けてはどうか③区営・区民住宅など、公共住宅の供給計画を策定すべきでは④千代田図書館の指定管理者に係る経費の中で、人件費をどう積算したのか⑤図書館の専門性を継承するために、雇用を継続出来る制度を構築すべきでは。

答 ①第2次住宅基本計画で、居住水準の目標を掲げ、その実現を目指している②現在は考えていない③区営住宅の設置戸数は、人口1000人当たり18戸で、23区で最も多く、新たに策定する考えはない④館長は区の部長相当、各部門プロデューサーは課長相当等、職責に合った措置を行った⑤専門性と経験蓄積の重要性を十分に認識し、協議していく。

公明党議員団

大串ひろやす

質問の趣旨は、現在の「100年に1度」といわれる社会経済の危機に際し、区はいかにして区民生活の安心を支え、また、信頼の絆を築いていくのかを問うものである。

安心と信頼の千代田へ仮称「希望の構想」を示してほしいか

問 今回の危機を歴史的な転換期と捉え、区として将来に身近な公共空間の形成、福祉の将来展望の3点を視点にした仮称「希望の構想」を示してほしいか。

答 共生の考え方はまさに連帯と協働参画が基本である。その共生を実現するのは信頼の絆だと思う。この絆こそ家族も含めて身近な地域での価値であり、最大の財産である。私たちの千代田区づくりの最大のポイントでもある。

「強い財政」はいつまで達成されたのか
また、財政白書を改定してほしいか

問 公共を皆で担おうとする時に、財政情報を知る資料が必要だ。現在の財政白書は作成されてから既に7年以上が経過した。そこで、目標とされた「強い財政」はどこまで達成されたのか。また財政白書を改定してほしいか。

答 白書の提案により平成14年に、経常収支比率と人件費比率の数値目標を定めた「行財政改革に関する基本条例」を策定した。それぞれ10.5ポイント、10.8ポイント改善した。また、財政情報をわかりやすく区民に示すための方法については、財政白書の改定も含めて検討していく。

基本計画改定の趣旨と方法は

問 平成21年度は基本計画が改定される。計画期間は短く、内容もわかりやすくし、誰もがいつでも参照出来るものにする事は評価出来る。そこで、総合計画全体の構成はどうなるのか、また計画を行政が行う行政計画ではなく、皆で担う公共計画として位置付けてはどうか。

答 総合計画全体は2層構造となる。期間は5年とし、施策レベルで課題解決の方向性と目標を示す。また、主要施策や施設整備の年次計画も示していく。参加型の計画となるように、策定の段階から多くの方々の意見を聞いていく。

(平成21年第1回定例会議会)

一般質問

(要旨)



ネットワーク 中村 つねお

経済状況が厳しい中にある。
住民税を減税し、商店主への
重点施策を考える必要がないか
また、区民を金融取引に巻き込む
ことを避けるべきではないか

問 第1の質問は、法改正により住民税減税が出来るようになった。そこで、住民税を直ちに減税すべきではないのか。今までは入ったお金についてどう使うかであったが、今後はお金を取らないために、どうするかという視点も必要ではないのか。

第2は、区民の起業に関する支援施策に工夫が必要ではないのか。区全体を盛り立てるビジネスについては、人的支援があっても良いのではないのか。

第3は、金融先物取引である温暖化ガス取引市場の二酸化炭素排出権取引に、区民を巻き込むのは避けるべきではないのか。

答 ①特別区民税は、本区で唯一の自主財源である。自主財源比率が3割という制約された本区では、特別区民税の減税は難しい。
②ちよだプラットフォームスクウェアで起業に向けた経営面を支援している。また、金融機関の理解も大切である。今後は、区も含めて支援体制の仕組みづくりを研究していく。
③排出量取引制度は、京都議定書の中の京都メカニズムとして、地球規模での温暖化防止及び途上国への開発の支援等の観点からは、必要な仕組みであると認識している。非常に市場性の高いものや市場に出回らないものも存在する。それらの動向を見極めながら、対処していく。

自由民主党議員団 はやお 恭一

小児の健康を守る予防接種の
総合的な検討について

問 新型インフルエンザなど予防対策に社会的な気運が高まっている。そこで保護者の判断に委ねられている小児期の任意の予防接種について、東京23区におけるインフルエンザやヒブの助成制度の状況及び本区における総合的な視野での検討について伺う。

答 23区内の予防接種の助成制度は、インフルエンザは平成20年度に台東、世田谷区が15歳まで、杉並区が就学前まで実施。ヒブは平成21年度から中央、品川、渋谷及び荒川区が開始予定。本区でも次世代育成支援推進会議で論議し、かかりつけ医のもとで安全に接種出来るよう医師会と協議していく。

学童期における命の大切さを伝える
情操教育の必要性について

問 本区では平成7年に「国際平和都市千代田区宣言」を行ない、戦争という歴史体験を通して命の大切さ、平和の大切さを後世に伝えると宣言している。教育再生懇談会が「豊かな情操と道徳心の育成などに資する題材の充実」という方向性を明示したことで併せ、学童期における情操的・道徳的な教育に関する取り組み並びに教える立場の資質向上を含め、今後の取り組みを伺う。

答 各小学校では、道徳教育を中心に社会科で平和の大切さ、保健体育科で生命の尊さなど、心の教育を推進している。今後も教科研究や教員研修の工夫を図り、人を思いやる心を子どもたちの中に育てていく。

ちよだの声 寺沢 文子

区長の区政運営方針について

問 石川区長3期目における区政運営の基本方針について、以下5点質問する①区長選挙の投票率は、43.66%と有権者の半数強が棄権した。この結果を、区長はどう考えるのか
②天下祭等イベントのあり方やまちづくりの手法等に批判の声も聞かれるが、どう応えて

いくのか③旧庁舎跡地等、未利用区有地の扱いについて、どのような方針を持っているのか④ゆとりと潤いがある良好な町並みの形成を図るため、地区計画の前に高度地区を指定すべきでは⑤まちみらい千代田等の補助金交付団体の適正な補助金の執行を担保するため、報告書に領収書の添付を義務化すべきでは。

答 ①投票率は周辺区と比較しても高く、区民の関心は高いと思う②多様な意見があるのは認識している。情性や慢心に陥らず多くの方の理解が得られるよう努力する③区民の利益を念頭に、区民の声に耳を傾け、活用方策を検討する④高さ制限だけでは良好な市街地環境の整備は困難であり、地区計画制度を活用している⑤領収書等の添付を指導する。

本庁舎の防災対策について

問 区の職員のみならず、国の職員や図書館利用者等の不特定多数の人も視野に入れた防災計画は、現在、どのような状況になっているのか。また、避難訓練の実施時期は。

答 防災センターの指示のもと、各階の自衛消防組織のリーダー等が中心になり避難誘導を行う。訓練は、春の消防訓練とあわせて実施出来るよう、関係機関と調整していく。

ちよだの声ー2 小枝 すみ子

住民投票条例について

問 区長選が終わわり、ある住民が作家の村上春樹氏の「壁と卵」の演説の言葉を借りて、卵＝住民の側に立つ区政ではないと語っていた。3期目にあたり、卵の側に立つ区政運営を。まず、自治基本条例に先駆けて、常設の住民投票条例の制定を検討してはどうか。

答 区と区民が情報を共有し、ともに施策を進めるといいう区民の区政参画の確立が不可欠と考える。本区の持つ特性や置かれた状況などを考慮しながら、今後も引き続き検討していく。

子どもオンブズマン条例について

問 子どもの環境がさまざまあるなかで、自分の意見を堂々と言える仕組みづくり

が大切である。利害関係の絡まない、第三者の組織、見識ある大人の集団を作れると思うが、制度化について再度伺う。

答 子どもたちが抱く個々の悩みや不安を聞き、解決出来る体制を整えることは重要である。相談用案内カードの配布や、スクールカウンセラーの派遣などを子どもたちへ積極的に伝え、活用出来るよう支援していく。

九段中等教育学校について

問 本格稼働する中等教育学校のソフト面・ハード面について、今後の計画を伺う。
答 運営理念に基づく教室の整備など、施設の改修が大きな課題である。老朽化した冷暖房設備などは省エネ対策を講じ、施設の配置や整備を検討し、協議のもとで進める。



自由民主党議員団 河合 良郎

区立小学校におけるメディア・リテラシー
教育のさらなる充実について

問 メディア情報が氾濫している昨今、子どもたちに「生きる力」、「情報を読み解く力」を身に付けさせることは重要であると考え。メディア情報には発信者の価値観や知識などが反映されていることを理解させ、情報の受け手、あるいはつくり手として、情報を適切に扱うことが出来る、情報識別能力を育成することが大切である。単に情報端末の操作に終始するのではなく、メディア情報は、事実を切り取ったものや製作者の何らかの意図が込められていることを体験として理解させな

一般質問

(要旨)

ければならない。そこで、区立小学校でのメディア・リテラシー教育の現状と、今後の実践的な方向性や取り組みについて問う。

答 各学校で、情報活用能力を培うことを基本に、発達段階に応じた、情報機器の利用に関する指導並びに情報の適切な評価・識別・処理・発信に関する指導を実施している。今後は、情報の受け手、送り手双方を想定し、人権侵害等への配慮などを体験的に学ぶ指導方法の開発等が必要と考える。

皇居周回マラソンコースを含む、皇居を基点とした千代田区幹線道路のスポーツ・観光歩道距離表示設置について

問 皇居周回の歩道に、スポーツ振興や観光の観点から、ランナーやウォーカーの目安になる、距離表示を設置してみてもどうか。面白いアイデアであり、区道の取り組みを中心に、関係部署と検討していきたい。



日本共産党区議団 福山和夫

まちづくりの構造改革「都心再生と地球温暖化対策条例は矛盾しませんか

問 ①「丸の内1・4計画」は、高容積率に容積移転の都心再生の典型。CO₂増加が見込まれる。大丸有全体でも同様。削減シナリオは達成出来るのか②大規模開発には許容CO₂排出量を定める規制が必要だが、東京都条例との調整についての考えは。

答 ①経済と環境の共生を図りながら、地域にふさわしい対策とする②東京都と同様な所有事業者ごとの二酸化炭素排出を規制する考えはない。しかし、再生可能エネルギー等の活用など、意見交換を積極的に行っており、今後も密接に連携していく。

公務の民間化の構造改革について

問 区政全体に通じている公務職員と民間職員では仕事に差が出るのでは。民間まで区役所の点検も弱まるのでは。所見を伺う。

答 指定管理者との連携を密にし、施設の運営状況を常に注視し、チェック体制の強化など責任のある運営を行なっていく。

第4期介護保険事業計画策定にあたって

問 ①「利用は必要に応じ、負担は能力に応じ」の原則は守るべき②介護度認定基準の変化で心身の状況が同じでも介護度が下がり、利用出来なくなることも。評価と対応は。

答 ①近年、利用は措置から契約へ、負担は応能と応益の組合せ②状況に応じ、きめ細かく判定するもの。限度額いっぱい利用されている人には、区独自の上乗せサービスで。

日本共産党区議団 飯島和子

区民の願う保育の拡充について

問 区内では希望する保育園に入れない子どもは、新年度で何名か。「待機児ゼロ」実現のための今後の具体的な計画について問う。また、4月に開所予定の認証保育所は、広報によると「区立保育園と同等以上の質を確保するだけでなく」とあるが、区は何をもって「同等以上の質」としているのか。

答 新年度に希望する園に入園出来ない子どもは、転園、特定園希望者及び認証保育所幹旋者で47名いる。今後は既存保育園の定数の弾力化、現保育園の建て替えによる定数拡大、富士見こども園の開設及び認証保育所の誘致を実現したい。また、保育の質について、第三者から見た客観的なサービス評価を一つの指標にし、保育の充実に努めたい。

公共施設トイレのバリアフリー化について

問 東京都発表の「生活者の視点に立ったトイレ整備の方針」は、「トイレはまちの共有財産であり誰もが社会参加出来るまちづくりのための核である」と述べている。利用者の目線に立ち、高齢者センターや区

役所1階のトイレにおいて、バリアフリーの点検・改善を早急に求める。

答 区有施設のトイレについては、平成14年度に全施設を対象に、洋式、腰かけ式便器及び手すりの設置を必要最小限に整備した。その後、必要に応じ整備を進めている。本庁舎一階のトイレについては、国との共用部分になるため、利用者の意見を国に伝え、手すり増設などを含め協議していく。

自由民主党議員団 林 則行

「地域防災計画の現状と課題」

問 地域防災計画策定後の対策を9点質問する①各避難所で防災訓練を実施した結果、明らかに不足してきた問題点と課題とは何か②マンション等への区の防災対策と、「震災に強い地域コミュニティの構築」とは何か③福祉施設との防災協定と、震災時の対策は④避難所区域と小学校区は異なるが、見解は。また、課題と問題点をどう認識しているのか⑤無認可保育所は何カ所あり、何名の子供が保育され、実態調査をしているのか。また、応急保育には対応出来るのか⑥認証保育所の防災計画の内容は⑦指定管理者が運営している避難所施設は、備蓄物資の数などの情報を区民等と共有しているのか。また、募集や更新の際に、防災対策の基準を設けているのか⑧ペット同行避難はどの避難所も可能なのか⑨愛犬を節日誕生日に表彰してはどうか。

答 ①実効性のある災害時要援護者の救済体制や備蓄資機材の操作法の習熟②地域総合防災訓練等や入居者説明会で地域活動等を紹介し交流を促進③施設管理者が保護④地域で合意するもので行政が強制的に決める事ではない⑤常時保育の事業所内保育所が6施設、一時保育のベビーホテルなど9施設。約240名程度。都と協力し実態を調査。一義的に事業者責任により応急保育を実施⑥東京都の認証保育所事業実施要綱に基づき入所契約時に利用者へ説明⑦施設管理者と避難所運営協議会構成員との情報共有化。また、防災課等と密接な連携が条件⑧すべての避難所で動物救護所を設置⑨獣医師会等が表彰の主催者には適切。

自由民主党議員団 小林 やすお

宮本公園に設置の区指定有形文化財 遠藤家旧店舗・住宅母屋について

問 本区指定有形文化財の「遠藤家旧店舗・住宅母屋」が、神田明神隣の宮本公園に移築・復元される。資料では、昭和2年、神田鎌倉町に江戸時代の建築様式により、現在は入手困難な屋久杉や秋田杉の銘木を使い建築され、外壁には「江戸黒」と呼ばれた黒漆喰が用いられている。35年ぶりの帰郷にあたり区が土地を提供し、民間が設置・管理するとされている。そこで次の質問をする①4月竣工を控え、区の間わりと有効活用について②管理事業者を選定する場合の基準について③イタズラ対策の防犯カメラの設置について④不審火対策などの防燃加工木材使用の協議について⑤同公園内の公共トイレのデザインは、遠藤家と同様な意匠とすべきでは⑥同様の申し出があった場合の区の対応について。

答 貴重な伝統的建築技術に裏打ちされた、戦前の店舗様式を何とかしたい思いで検討してきた。未永く後世に残すため、平成20年4月、区有形文化財に指定し、移築・保存を固めた①活用方法を協議しながら、区として支援・協力していく②一般開放、イベント企画書の事前提出、建物修繕に関する文化財担当者との協議などが許可条件③夜間の巡回パトロール、神田明神とセキュリティの連携を図る④神田消防署の指示に基づいた防火対策後、消防検査を終了した⑤遠藤家の意匠や景観を勘案したデザインを検討する⑥文化財の指定が受けられ、設置・管理の体制を整えば、民間敷地も視野に入れ検討する。



定例区議会活動報告

常任委員会

常任委員会では10件の議案と請願などについて、担当の委員会で審査しました。

主な議案の審査結果をご紹介します。

企画総務委員会

企画総務委員会では、主に次の3議案を審査しました。

「職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例」は、地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、育児短時間勤務職員の勤務時間を短縮するもので、本年4月1日から施行するものです。

「千代田区長等の地域手当及び退職手当の特例に関する条例の一部を改正する条例」は、区長、副区長及び教育長の地域手当及び退職手当について、一定の減額を特例として規定してきましたが、これを本年10月まで延長するものです。公布の日から施行し、3月1日から適用することです。なお、区長の退職手当については2月8日からの適用です。

〈審査経過〉

質疑の中で、本年4月に報酬等審議会を設置し、区長等の報酬について諮問すること。ただし、当該地域手当については、現時点では答申の対象外であるが、意見を求めること。さらに、特別職の地域手当のあり方については、今後検討していくことなどが明らかにになりました。

「千代田区立自動二輪車駐車場条例」は、区立の自動二輪車駐車場を新たに設置し、駐車時間や料金の限度額等を規定するもので、本年4月1日から施行することです。

〈審査経過〉

質疑の中で、近隣の駐車料金等を勘案して算定した駐車料金は、1時間あたり500円の上限を規定したが、当面30分100円で運用するこ

と。また、51cc以上の自動二輪車を対象にしているが、原動機付自転車等の利用も有料となることなどが明らかにになりました。

また、現在の交通対策は交通管理者である警察、さらに国及び都がそれぞれの役割を分担している。区としては、個別のケースの実態を捉えつつ、国道、都道に加えて、民有地の活用も含め、都市インフラとして道路全般を総合的に検討・整備していく必要性が確認されました。



生活福祉委員会

「千代田区特別区税条例の一部を改正する条例」は、地方税法の一部改正に伴い、区民税を公的年金から特別徴収する制度を設けるなど、規定を整備するものです。

〈審査経過〉

質疑の中で、次のことが明らかになりました。①65歳以上の年金受給者のうち、対象者は、約3,000人と見込んでいること②公的年金から区民税の特別徴収を行うことについては、会合などへ出向き説明するなど、丁寧な周知に努めることなどです。

〈討論〉

〈反対の意見〉

普通徴収を選択出来ず、強制的に特別徴収することには家計のやりくり等に問題を生じる。また、経費の効率化に比べ、システム改修費などの経費の20倍もの増加があり反対する。(福山)

〈賛成の意見〉

徴収の効率化の観点、また、普通徴収の徴収率は98%であり、特別徴収の実施に大きな影響がないと考え賛成する。(はやお)

「千代田区国民健康保険条例の一部を改正する条例」は、国民健康保険事業の安定的な運営のための保険料率の改定や、法改正による公費負担等の規定を整備するものです。

〈審査経過〉

質疑の中で、保険料の算定にあたっては、高額療養費を除いて保険料率を抑えていることや、均等割保険料の軽減措置を実施していることなどが明らかにになりました。

〈討論〉

〈反対の意見〉

国民健康保険料の滞納事由に生活困難がある。また、国民健康保険を始めた、区民の負担が増え、低所得者への配慮がないことなどから反対する。(福山)

〈賛成の意見〉

区は、子育て世帯のため、「次世代育成支援手当」や「子どもの医療費の無料化」を実施している。施策全体で考えることが重要であり、国民健康保険の加入者への丁寧な対応を要望し賛成する。(林)

「千代田区応急資金貸付条例の一部を改正する条例」は、現在の社会経済状況の急速な悪化のなか、区民生活の安定を確保するために複数の委員から提案があり、全会一致で委員会提出議案としたものです。

主な改正内容は、①一般資金の貸付限度額を33万円に引き上げること②償還据置期間を一般資金は3カ月へ改め、償還月数を33カ月へ改正すること③貸付資格は、区内居住期間を12カ月以上に改め、新たに、「区長が特に必要と認める場合は、資金の貸し付けを受けることが出来る」という規定を定めるものです。

〈審査経過〉

応急資金の財源は、区民の税金を中心としており、償還率が3割を下回る現状を改善する必要性から、貸し付け時の区内居住期間要件を、3カ月から12カ月に改める必要があるとの意見が出される一方、新たに区民となった場合にも応急資金の貸し付けを受けられることが望ましいとの意見も出されました。こ

の点に関して、貸し付け資格要件に加えられた「区長が特に必要と認める場合」の規定が有効に活用されるのか質問がありました。

条例改正後は、応急資金の事業案内を始め、区民へのPRの際「柔軟な対応を心掛けるので、まずは相談してほしい」と明記することや、庁内の連携も十分に図ることなどを確認しました。

なお、この条例案が施行された場合の予算は、平成21年度予算計上額と実績額に乖離があるため、上限額が引き上げられても、対応が十分可能であることを確認しました。

「景気悪化から区民のくらしを支えるための請願書」は、次の3項目を審査しました。

(1)生活保護世帯への見舞金(夏・冬)を復活してください。

(2)寝たきり高齢者と家族の負担を軽減するために、高齢者福祉手当を復活してください。

(3)介護療養型の医療施設入所者も、「後期高齢者入院時負担軽減事業」の対象にしてください。

〈審査経過〉

(1)生活保護世帯への見舞金(夏・冬)を復活してください」は、質疑の中で次のことが明らかにになりました。①現在、区独自で見舞金などの事業を実施しているのは、4区であること②当時、単身世帯では、夏と冬に3,850円が給付されていたことなどです。

〈討論〉

〈反対の意見〉

生活保護制度の目的は真の自立にあり、そのためには単なる努力への見舞金ではなく、サービスのメニューをより充実させることが大事であることから反対する。(大串)

激励のための現金給付を行うより、就職活動用の被服の支給など、自立促進事業を充実させて積極的に実施するなど、地域移行支援に取り組むべきであり反対する。(林)

〈賛成の意見〉

生活保護制度では、自立促進事業で支給されるのは3分の1のみ。90世帯には、カットが直接影響する。「励まし」の役割を果たしてきた経緯もあり、区の対応を示す意味から

も賛成する。 (福山)

生活保護世帯が、全て自立出来れば良いが、疾病や高齢などの事情で、自立につながらない人も、高齢化社会の中で増えていく。見舞金の支給が、生きることへの希望につながるという、意義があることから賛成する。(寺沢)

「(2) 寝たきり高齢者と家族の負担を軽減するために、高齢者福祉手当を復活してください」は、質疑の中で、次のことが明らかにになりました。①区は、在宅支援ホームヘルプサービスの事業の拡充や、新たな訪問リハビリ事業の開始など、在宅サービスの充実に努めていること②21区で、高齢者福祉手当が終了していることなどです。

【討論】

【反対の意見】

介護保険制度の導入を契機に、現金給付から直接的なサービス提供へ施策を転換し、区は、在宅医療と介護の連携プロジェクトの推進など、在宅支援事業を展開している。今後、在宅支援サービスなどの基盤整備の充実に努めていくべきと考え反対する。(はやお)

高齢者は住み慣れた地域や自宅で暮らしたいという思いがある。そのためには単なる、励ましの手当より、介護サービスを始め、福祉の一般施策、地域の支えあいの仕組みを作り、施策を充実していくべきであり反対する。(大串)

【賛成の意見】

いまだに、在宅介護と施設介護の差が解決されず、医療系介護病床では、月50万円の負担など、非常に大きい。手当の復活は、小額だが区が応援する姿勢に、頑張っている人達を励ます役割があることから賛成する。(福山)

措置の時代は、低所得者のサービス利用は無料であったが、介護保険制度では1割負担があるため、限度額までサービスを利用出来ない人もいる。現金給付がどうかとの思いはあるが、1割負担やレスパイト(休息・余暇活動)などにも使えることから賛成する。(寺沢)

「(3) 介護療養型の医療施設入所者も、「後期高齢者入院時負担軽減事業」の対象にしてください」について、次の説明がありました。

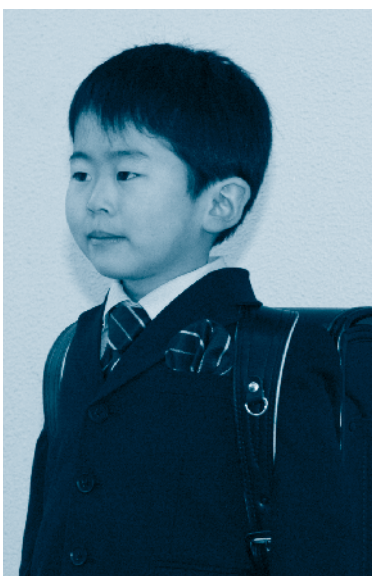
この事業は満75歳以上で医療保険適用の病院に入院した人を対象に、紙おむつなどの保険外の費用負担を助成する制度で、平成19年度から開始し、20年度は115人に対し平均5万円を助成しているとの説明を執行機関から受けました。紹介議員からは、介護保険施設でも、リース会社と個人が契約し、洗濯代・寝間着代など月額数万円の費用を負担している人も見受けられ、負担の軽減を望む率直な思いについて説明がありました。

【討論】

【反対の意見】

医療保険適用の病院では、医療費の自己負担以外に、おむつ等や介護用品などの費用も全額自己負担している。しかし、介護保険施設では、介護用品等は給付対象であるため、病院のほうが保険外の負担がより重い状況である。現時点では、介護保険施設での負担軽減の必要はないと考え反対する。(松本)

(3) について委員から賛成の討論はなく、採決の結果、項目(1)及び(2)は、賛成少数で不採択と決定しました。次に、項目(3)の採決は、紹介議員の福山委員も含め賛成者がなく、不採択となりました。



環境文教委員会

当委員会に審査を付託された議案2件と請願1件を審査しました。

「千代田区ひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例及び千代田区子ども医療費助成条例の一部を改正する条例」は、児童福祉法改正により「小規模住居型児童養育事業」が制度化され、対象児童の医療費は児童養護施設入所児童等と同様に公費負担となったた

め、各条例の適用から除外するものです。

「幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」は、義務教育等教員特別手当について、国等との均衡を図るため、手当の上限額を「800円」から「700円」に引き下げるものです。

【審査経過】

質疑の結果、本手当が減額されても幼稚園教育職員が確保出来るように、職層に応じて給与にメリハリをつけ、意欲のある職員に魅力ある給与体系への移行を進めていること。

また、幼稚園教育職員に対する支給額が、小・中学校教員の2分の1になっている理由は不明であること、国庫負担金の縮減に伴う支給額の引き下げであるため、全国の自治体の中には独自の判断で引き下げない団体もあること、などが明らかになりました。

【討論】

【賛成の意見】

正規職員の負担が増えているなかで支給額が引き下げられることは適切ではないが、労使合意がなされていることを尊重し、本案には賛成する。(飯島)

「景気悪化から区民のくらしを支えるための請願書」は、「(4) 就学援助の対象者を、世帯の所得が生活保護基準の1.5倍程度に拡充してください」について審査しました。

審査にあたって、本区並びに他区の就学援助の実施状況や請願の願意を実施した場合に想定される影響などについて、担当課長に説明を求めました。説明では本区の就学援助の基準は生活保護基準の1.2倍であり、同等の基準で実施している区は他に14区あること。本区の就学援助の基準を超えて実施している区は5区、3区は低い基準で実施していること。1.2倍以上で実施している区は多くは、給食費については生活保護基準どおりだが、本区では1.2倍としていること。平成20年度の対象は、児童が162名、生徒が83名であり、基準を拡充した場合は、児童・生徒計11名が新たに対象となる見込みであるとのことでした。

続いて、紹介議員からは、本区では他区と比べて教材費や学校徴収金が多いこと、子育て世帯が生活保護世帯と同等の生活水準となるためには、就学援助の基準が14倍以上必要という試算がされていることなどが説明されました。

【審査経過】

質疑の結果、支給方法は定額支給と実費支給があり、本区ではその多くを実費支給し、また、定額支給も他区より多く金額を設定していること。支給対象者の適正化を図るため、当初の1.5倍から1.2倍まで段階的に引き下げられてきた経緯があること。1人あたりの支給年額の概算額は、児童が約10万5000円、生徒は、行事内容により約14万円から20万円であること、などが明らかになりました。

【討論】

【反対の意見】

本区では支給方法として、実費支給を採用すること、他区よりも援助額自体は多くなっていること。定額支給についても他区より多く額を設定しているとともに、次世代育成手当などの子育て施策も他区よりも充実していることから、反対する。(戸張)

他区においては1.2倍を下回る区もあるとともに、本区では支給方法として実費支給を多くすること、社会経済状況の影響を極力受けられないように保護者の負担を考慮しており、この他にも本区独自の次世代育成手当があることから反対する。(小林やすお)

本区では実費支給をしており、他区より多い支給額になっている。また、独自の次世代育成手当もあることから反対する。(河合)

【賛成の意見】

現在の厳しい経済状況であるからこそ拡充が必要であり、母子加算が廃止されるなど、生活保護基準自体も引き下げられていることから賛成する。(飯島)

経済的な理由で、就学困難な家庭の範囲をどのように規定するかということが問われており、1.5倍でも控えめな値と考えられるとともに、過去には1.5倍であったことから復活すべきと考え、賛成する。(小枝)

メールアドレス kugikai@city.chiyoda.lg.jp

ホームページアドレス <http://kugikai.city.chiyoda.tokyo.jp>

特別委員会

まちづくり特別委員会

当委員会では、現在、一時中断している「神田東松下町計画」に関する検討の方向性について、執行機関から報告を受けました。

質疑・質問をおとして、区営住宅及び民間住宅の配置、デベロッパーの選定などの課題について、今後、現時点での検討状況の詳細を執行機関から提示していくことを確認しました。

また、計画の変更等を求める陳情が提出されている「平河町二丁目東部地区」の地区計画に関する、計画の経緯・経過及び現状での建物配置案について、執行機関から説明がありました。同様の陳情が提出されている「飯田橋駅西口地区」の地区計画等とともに、現場の状況を確認した上で引き続き議論していくことを確認しました。

当委員会では、地域のまちづくりは、地域住民の住環境に影響を与えるため、今後とも十分に議論していきます。

観光施策特別委員会

さくらまつりの開催について、担当部長から、次の報告を受けました。

①千鳥ヶ淵のライトアップがLED（発光ダイオード）に変わり、従来の軽油発電より消費電力が約10分の1程度に減ること。

②さくらグッズの携帯ストラップやさくら箸は、昨年より価格を下げて販売すること。

③さくらコンクールは、写真と絵画で行うこと。

④シャトルバスは、今年も神田方面ヘルトリ口に設けて運行する。また、通年で神田方面へ運行出来るよう調整していること。

⑤ポート場は、3月24日に落成式を行い25日からオープンすること。

⑥さくらまつりの期間中、試みとして庁舎1階の区民ホールに案内所を設けること。
質疑の中で、委員から臨時の案内所は、庁

舎1階にこだわらず、いろいろな場所を検討してはどうかとの意見が出されました。

また、観光協会について、法人化や財政支援などが課題としてあるため、観光協会との意見交換の場を検討していくことを確認しました。



子ども施策特別委員会

当委員会に送付された「千代田区の子ども育成指針の策定と、その協議に有識者や保護者を交えることを求める陳情について」を再度審査しました。

前回の審査を踏まえ、「次世代育成支援施策全般を議論している既存の会議体で、地域特性を踏まえた子どもの成育環境等の検討が可能か伺ったところ、ワーキンググループ等の設置により可能である旨が確認された」との説明が担当課長からありました。

委員からは、「その会議体が現在検討している計画を協議するだけでも厳しいので、運営上のさらなる配慮が必要である」、「保護者を加えることは検討されるのか」、「子どもに関する計画等が多いので、それぞれの位置付けを明確にし、混乱が生じないように整理が必要である」などの質疑や意見が出されました。

委員会としては、陳情の要旨にある「育成指針を検討する場の新設」ではないが、「検討する場を設ける」と「検討の場に有識者と保護者を加える」という、陳情が求めている方向性についてはほぼ満たしており、その趣旨を汲んだ対応を執行機関に求めることで、陳情の審査を終了しました。

交通バリアフリー特別委員会

担当課長から、バリアフリー福祉のまちづくり事業について説明を受けました。

説明によると、区は平成22年1月の（仮称）障害者福祉センター開設に合わせ、JR御茶ノ水駅（御茶ノ水橋口）周辺地区を高齢者・障害者を始め、すべての人に優しいまちとするため、バリアフリー福祉のまちづくり事業を推進することです。期間は平成20年度からの3年間です。

主な整備内容は、周辺道路の歩道拡幅・バリアフリー化を図るとともに、音声で病院等の施設へ誘導出来るよう、駅前に音声触知図案内板を設置し、各施設に音声標識ガイドシステムを導入します。なお、この事業は、東京都の補助事業「ユニバーサルデザイン福祉のまちづくり事業」として指定されています。

区では、他の地域でも、順次、バリアフリーの推進に向けて、同様の取り組みを進めていくとのこと。

このほか、平成21年度に実施するJR秋葉原駅周辺エリアの歩道段差改善や、区内鉄道路線のバリアフリー化について、状況調査の結果報告などを受けました。

当委員会では、引き続きバリアフリー推進に向けて、議論を進めていきます。

地球温暖化対策特別委員会

平成21年度予算に計上された地球温暖化対策に関する新規事業について、担当課長から説明を受け、委員会で議論しました。

主な新規事業は、次のとおりです。

①太陽光発電システムなど省エネ促進のための各種助成制度の創設

②区内の既存建物の省エネ化を図るため、商店街や街区単位でモデル地区を設定して、現況調査や省エネ診断と対策メニューを検討する「グリーンストックモデル事業」

③省エネなど温暖化対策の普及啓発事業
これらの新規事業は、委員会で十分に議論を重ねた上で、進められることとなります。
今回の委員会では、特に省エネ促進のため

の各種助成制度について議論をしました。委員からは、制度創設の目的や効果、国や都の助成制度との関連などについて質疑や指摘がありました。

委員会では、引き続き議論を進めていきます。

広報広聴特別委員会

これまで当委員会で議論してきた、区議会の広報広聴活動の課題について整理しました。このなかで、区議会だよりのレイアウト変更やホームページの環境整備等は、今後も継続的に調査・研究していくことを確認しました。

次に事務局から、ホームページに掲載されている陳情書等の表示について、提出者の氏名・住所を伏せるよう検討してほしいとの要望があったことが報告されました。

委員からは、情報公開及び個人情報保護に係わる問題もあり、当委員会だけの判断で結論を出すことは難しい。当委員会の課題の一つとして検討し、議会活動条件整備等検討会などで議論する必要があるのではないかとの提起がありました。当委員会では、見識者の意見なども参考に、検討を進めることを確認しました。



平成21年度 予算審査から

今定例区議会に提案された平成21年度当初予算5議案及び平成20年度補正予算4議案は、全議員で構成する予算特別委員会を設置し審査しました。

委員会では、まず補正予算4議案を審査し、いずれも全員一致で可決しました。その後、当初予算の概要説明を受けました。

当初予算は、多岐にわたる分野の調査が必要ことから、企画総務、生活福祉、環境文教の3つの分科会を設置し、それぞれ所管部分の詳細な調査を行いました。

分科会の調査報告を受け、総括質疑、意見発表を終え、採決に入ったところ平成21年度当初予算5議案は、いずれも賛成多数で可決しました。

主な論議事項は、次のとおりです。

- ◆環境アセスメント・都市計画縦覧の広報について
- ◆江戸天下祭について
- ◆公共建築等の設計者選定のあり方について
- ◆非常勤・臨時職員等の雇用形態、待遇等について
- ◆消費生活支援事業について
- ◆屋内喫煙所設置助成について
- ◆高齢者在宅医療と介護の連携プロジェクト
- ◆教育委員・教育委員会について
- ◆発達支援・特別支援教室について
- ◆被災者支援システムについて
- ◆都心再生と地球温暖化対策について

平成21年度予算の概要

本予算は、昨今の低迷する経済状況や不安定な社会情勢を踏まえ、基礎的自治体として区民生活の安心と安全を支えることを最優先に編成したとのことです。さらに、将来への希望と明るい展望が持てる千代田区を目指すことを基本にしています。

急速な社会構造変化や社会保障制度の改革などにより区民生活が大きな影響を受けるなかで、区民の家計や区内の中小企業を支援するための施策、暮らしの安心を支える基盤となる施策、さらに環境モデル都市として取り組む地球温暖化対策について重点的に予算化

を図っています。（※「環境モデル都市」とは、低炭素社会（二酸化炭素など温室効果ガス排出の少ない社会）への転換を進め、先導的役割を果たしていく意欲的な自治体）

また、全会計の予算規模は、前年度に比べ38億7,800万円、7.2%の増となっています。

予算特別委員会における討論

【反対の意見】

江戸天下祭や消費生活支援事業等、本予算案はPDCAサイクルに基づいていない。また、まちづくりの手法が、地域住民に真摯に向き合う説明責任を果たしていない。そして、区民の貴重な財産である低未利用地について、3年以上、何の方針も策定されていない状況が明らかになったことから反対する。（寺沢）

住民の評価が大きく分かれる江戸天下祭効果に疑問が残る消費生活支援事業など、住民満足度との整合性のない事業を継続している。まちづくり、未利用区有地、新基本計画の策定のあり方など、すべてにおいて、住民の立場に立った住民参加のシステムを明確にした行政運営を期待するが、予算案の基本にはそうした思想がうかがえない。（小枝）

未曾有の景気悪化のもと、区民の暮らしと営業を支える施策が、全体として不十分である。一方、江戸天下祭など無駄遣いを温存している。行政責任を縮小させる官から民への流れを一層推進する予算案になっている。都心再生を推進する予算であり、大型開発の推進が地球温暖化対策に逆行している。（木村）

【賛成の意見】

予算案は100年に1度と言われる危機的な経済状況のなか、区民の安心と安全を支えることを最優先に編成されている。区民の暮らしの安心を確保するための「高齢者在宅医療と介護の連携プロジェクト」、「学童クラブ待機見対策」や家計・中小企業支援のための事業が盛り込まれ、将来を見据えた施設整備も行われる予算となっていることから賛成する。（嶋崎）

基礎的自治体として、区民生活を支えることを最優先とし、「消費生活支援事業」、「在宅高齢者等訪問リハビリ支援事業」など、多

くの事業が予算化されている。また、区営住宅使用料や介護保険料など、低所得者へのきめ細かい配慮がなされている。区民福祉の総合的な向上に寄与する予算である。（松本）

現在の社会経済状況のなか、予算案が、区民生活の安心を支えることを最優先とし、さらに将来への希望と明るい展望が持てる千代田区を目指すことを基本として編成されたことは評価出来る。個別事業としては、雇用対策への取り組み、被災者支援システム導入への検討、火災報知機全戸設置、自動二輪車駐車場の整備、メディア・リテラシー教育の実施など評価出来る。（大串）

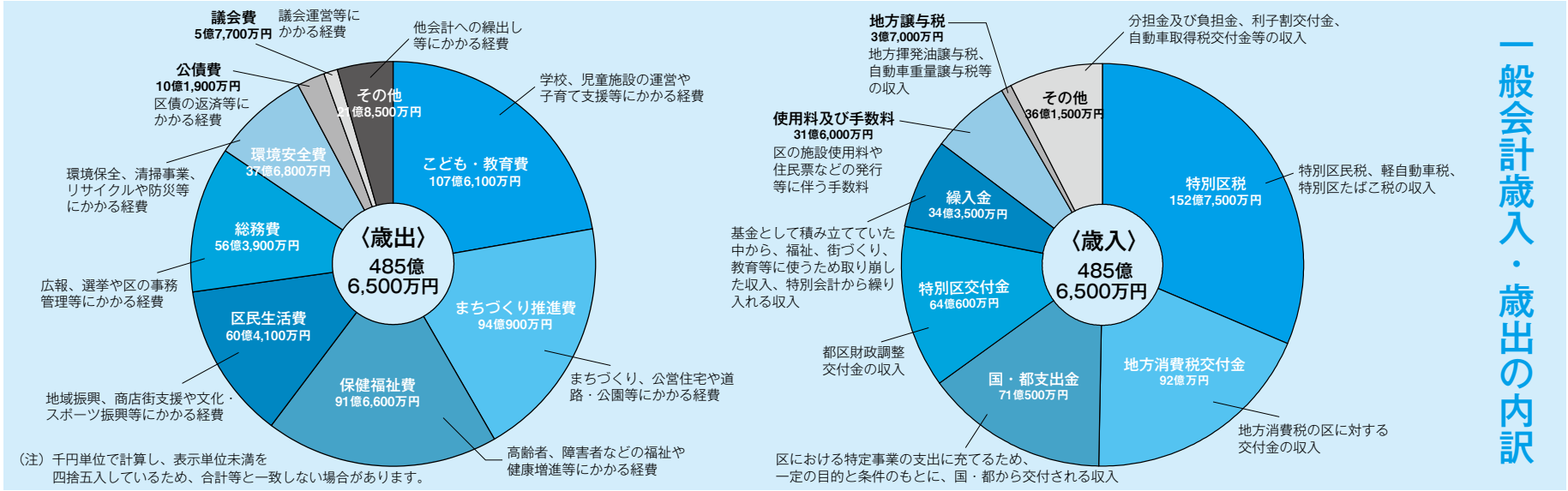
当初予算の規模

(平成20年度当初予算との比較)

(単位:百万円、%)

年度・増減 会計区分	平成21年度	平成20年度	増減額	増減率
一般会計	48,565	44,623	3,943	8.8
国民健康保険事業会計	4,649	4,353	295	6.8
老人保健特別会計	49	501	△453	△90.3
介護保険特別会計	3,240	3,159	81	2.6
後期高齢者医療特別会計	1,271	1,259	11	0.9
全会計合計	57,774	53,896	3,878	7.2

(注) 千円単位で計算し、表示単位未満を四捨五入しているため、合計等と一致しない場合があります。



討論については、要旨を掲載しています。また、委員会の記録は、区議会ホームページや7階の区議会事務局でご覧になれます。

メールアドレス kugikai@city.chiyoda.lg.jp

ホームページアドレス <http://kugikai.city.chiyoda.tokyo.jp>

12月から2月の主な活動	
日 程	
12/12	生活福祉委員会国内行政調査【日比谷図書館等】
17	まちづくり特別委員会
25	広報広聴特別委員会 議会運営委員会（未開催） 企画総務委員会 生活福祉委員会 環境文教委員会 3 常任委員会連合審査会
1/21	生活福祉委員会
23	議会運営委員会 企画総務委員会
2/9	議会運営委員会 全員協議会
12	生活福祉委員会 企画総務委員会
13	議会運営委員会（未開催）
19	議会運営委員会 〈平成21年第1回定例区議会告示日〉
23	議会運営委員会（未開催）
25	議会運営委員会

議長からの報告

3月23日に開かれた生活福祉委員会のなかで、請願の採決の際に、その請願の紹介議員が反対を表明したことについて、25日の継続会で、議長から説明がありました。

報告（生活福祉委員長）にありましたとおり、生活福祉委員会における請願の採決の際、紹介議員である福山和夫議員は紹介取り消しの申し出など、本来とるべき手続きを経ないまま、その一部に反対をいたしました。

紹介議員は、請願の採択に努力する責務があります。したがって、議長として、同議員に経過の報告を求めましたが、同議員からは体調不良を理由として、面会出来ず文書の提出がありました。しかし、文書は反省している旨の表明はあるものの、事実経過についての報告ではありませんでした。

そのため、議長としては、桜井ただし生活福祉委員長に、同委員会における採決の際の事実経過を報告していただきました。

なお、同議員の行動は大変遺憾であります。



平成21年第2回定例区議会は、6月5日（予定）から開催します

本会議や委員会は、どなたでも傍聴することが出来ます。

開催当日、本会議は区役所8階の傍聴受付、委員会も8階の委員会室で、それぞれ住所と氏名をご記入ください。どうぞ、お気軽にお越しください。

デジタル写真館

区議会だよりの1面に、あなたの撮影写真を掲載しませんか。

このコーナーでは、区内に在住・在勤・在学者の皆さんが撮影した、区内の風景や、草花など、心なごむ写真を募集しています。

是非ご応募ください。

採用された方には、記念品を送らせていただきます。

*問い合わせ 千代田区議会事務局まで

○委員会に付託した請願（平成20年12月10日～平成21年3月25日）

請 願 名	付 託 委 員 会	結 果
景気悪化から区民のくらしを支えるための請願書	生活福祉委員会 環境文教委員会	不採択

○委員会に送付した陳情（平成20年12月10日～平成21年3月25日）

陳 情 名	送付委員会（ ）内は参考送付
千代田図書館サポーターズクラブにおける入会申請却下の取消しを求める陳情について	（生活福祉委員会）
「気候保護法（仮称）」の制定を求める意見書の提出についての陳情	（環境文教委員会）
平河町二丁目東部地区地区計画変更を求める陳情	まちづくり特別委員会
「飯田橋駅西口地区地区計画」（富士見二丁目10番地区市街地再開発ビル建設事業）の陳情書	まちづくり特別委員会
「東京中央郵便局庁舎」の解体中止に関する陳情について	企画総務委員会
現行保育制度の堅持・拡充と保育・子育て支援予算の増額を求める意見書の提出を求める陳情書	環境文教委員会

※各委員会では、議案の審査や担当する事項の調査、請願・陳情の審査等を行っています。	25	議会運営委員会 本会議（議案の議決等）
	24	議会運営委員会
	23	企画総務委員会 生活福祉委員会 環境文教委員会
	19	議会運営委員会（未開催） まちづくり特別委員会
	17 18	予算特別委員会（総括）
	16	企画総務委員会 生活福祉委員会
	13	地球温暖化対策特別委員会 広報広聴特別委員会 議会運営委員会
	12	交通バリアフリー特別委員会 まちづくり特別委員会
	11	子ども施策特別委員会 観光施策特別委員会
	10	議会運営委員会 本会議（議案の議決等）
	9	予算特別委員会（補正・分科会の設置） 予算特別委員会（分科会）
	6	企画総務委員会 生活福祉委員会 環境文教委員会
	5	議会運営委員会 本会議（一般質問・議案の付託・ 予算特別委員会の設置等）
	3 4	議会運営委員会 本会議（代表質問・一般質問）
	27	議会運営委員会
	2 26	議会運営委員会 本会議（会期の決定・区長招集あいさつ）
	月／日	本会議・委員会関係へ会期28日間▽

平成21年第1回定例区議会会期日程

メールアドレス kugikai@city.chiyoda.lg.jp

ホームページアドレス <http://kugikai.city.chiyoda.tokyo.jp>

◇ 議案の審議結果など（平成 21 年第 1 回定例区議会） ◇

議 案 名 等			可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席																															
			出席者数	投票数	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	議決月日	
								飯島和子	木村正明	福山和夫	野沢けいすけ	高澤秀行	荻原秀夫	はやお恭一	林則行	嶋崎秀彦	※欠員	小林たかや	寺沢文子	大串ひろやす	山田ながひで	中村つねお	河合良郎	松本佳子	小林やすお	小枝すみ子	市川宗隆	桜井ただし	高山はじめ	戸張孝次郎	鳥海隆弘	石渡伸幸		
								共産	共産	共産	民主	風	未来	自民	自民	自民		声	声	公明	公明	ネット	自民	自民	自民	声2	区民ク	自民	自民	自民	自民	自民		自民
委員会提出議案	千代田区応急資金貸付条例の一部を改正する条例		23	22	22	0	可	○	○	欠	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/25	
区長提出案件	平成 20 年度千代田区一般会計補正予算第 2 号		24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/10	
	平成 20 年度千代田区国民健康保険事業会計補正予算第 1 号		24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/10	
	平成 20 年度千代田区介護保険特別会計補正予算第 1 号		24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/10	
	平成 21 年度千代田区一般会計予算		23	22	17	5	可	×	×	欠	○	○	○	○	○	○		×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	3/25	
	平成 21 年度千代田区国民健康保険事業会計予算		23	22	17	5	可	×	×	欠	○	○	○	○	○	○		×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	3/25	
	平成 21 年度千代田区老人保健特別会計予算		23	22	17	5	可	×	×	欠	○	○	○	○	○	○		×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	3/25	
	平成 21 年度千代田区介護保険特別会計予算		23	22	17	5	可	×	×	欠	○	○	○	○	○	○		×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	3/25	
	平成 21 年度千代田区後期高齢者医療特別会計予算		23	22	17	5	可	×	×	欠	○	○	○	○	○	○		×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	3/25	
	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例		24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/10	
	千代田区長等の地域手当及び退職手当の特例に関する条例の一部を改正する条例		24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/10
	千代田区特別区税条例の一部を改正する条例		24	23	17	6	可	×	×	×	○	○	○	○	○	○		×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	3/10
	千代田区ひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例及び千代田区こども医療費助成条例の一部を改正する条例		24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/10
	千代田区立障害者福祉センター条例		24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/10
	千代田区国民健康保険条例の一部を改正する条例		24	23	17	6	可	×	×	×	○	○	○	○	○	○		×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	3/10
	千代田区介護保険条例の一部を改正する条例		24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/10
	千代田区介護従事者処遇改善臨時特例基金条例		24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/10
	千代田区立自動二輪車駐車場条例		24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/10
	幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例		24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/10
	千代田区副区長の選任の同意について		24	23	19	4	可											無記名投票による採決										2/26						
	平成 20 年度千代田区一般会計補正予算第 3 号		24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/10
	千代田区行政監察員の選任の同意について（2 件）		23	22	22	0	可	○	○	欠	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/25
	千代田区名誉区民の選定の同意について		23	22	22	0	可	○	○	欠	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/25
	請 願	景気悪化から区民のくらしを支えるための請願書		生活福祉委員会付託分	(1)	23	22	6	16	否	○	○	欠	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	○	×	×	×	3/25
					(2)	23	22	6	16	否	○	○	欠	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	○	×	×	×	3/25
(3)					23	22	2	20	否	○	○	欠	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3/25
環境文教委員会付託分				(4)	23	22	6	16	否	○	○	欠	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	×	×	×	×

※ 千代田区議会議員 上限数 26 名 条例定数 25 名 現員数 24 名（※議席番号 10 番は欠員です。）
※ 議長は採決に加わりませんので、「-」で表示してあります。（議長 議席番号 22 番 高山はじめ）



編集後記

今回のデジタル写真館で採用した「千鳥ヶ淵ポート場」が改修工事を終え、装いも新たにオープンしました。周辺の千鳥ヶ淵緑道も一新され、歩きやすくなった緑道には桜やあじさい、もみじ等を植え「四季の道」として一年中楽しめます。是非お越しください。

また、第 1 回定例区議会では、委員会として提出した「応急資金貸付条例の一部を改正する条例」を全会一致で可決しました。これからも皆さんの生活の安定を確保出来るように努めてまいります。

（荻原）